

神戸市立医療センター西市民病院

内科

指導担当医（役職）

中村 武寛（臨床研修センター長）

実習概要

概要

内科のうち、4週間で2科（総合内科は1科）を同時進行で実習します。

2科の組み合わせは、「呼吸器内科・循環器内科」「消化器内科・糖尿病内分泌内科」「腎臓内科・脳神経内科」「総合内科」の4通りとなります。

医療面接

毎日、1回は必ず担当患者を訪室し、医療面接と身体診察を行います。

身体診察

担当患者を毎日診察します。

カルテ記載

毎日、学生カルテに記載をお願いします。指導医が記載内容をチェックし指導します。

症例プレゼンテーション

毎週病棟カンファレンス等において、口頭で担当患者のプレゼンを行います。

その他（主な診療科の概要）

【呼吸器内科】呼吸器内科の主治医団の一員として過ごします。オーダー（投薬）は行いませんが、それ以外はほぼ初期研修医と同様に行動します。学生1人当たり患者さんを2～3人担当し、主治医団の回診やICに参加し、検査に同行し、治療計画を立案します。カンファレンスでは口頭での症例プレゼンをお願いします。もちろん新型コロナウイルス肺炎の患者は担当しません。

【循環器内科】医師として必要な基本姿勢、態度を身につけるため、循環器内科の主治医団の一員として4週間過ごします。投薬は行えませんが、それ以外はほぼ初期研修医と同様に行動します。回診、病状説明、検査、治療計画等を行います。

【消化器内科】主治医、担当医、初期研修医とともに主治医団に入り、4週間実習します。オーダー（処方、検査）は行いませんが、それ以外はほぼ初期研修医と同様に行動します。学生1人当たり患者さんを常時2~3人担当し、身体診察やカルテ記載とともに、担当患者の内視鏡関連検査・治療にも同行し、入院から退院までの診療経過を経験します。

【糖尿病内分泌内科】糖尿病・内分泌内科の主治医（スタッフ医師）・担当医（初期研修医）とともに、主治医団に入り、4週間実習します。糖尿病・内分泌内科では、多職種のメディカルスタッフとのチーム医療を大切にしており、その中での医師の役割を実地で学びます。

なお、初期研修医のローテーションが糖尿病・内分泌内科と消化器内科の組み合わせとなっており、学生実習も同様の組み合わせとなります。担当患者さんの割合は、状況により適宜調整します。

【腎臓内科】主治医団の一員として実習を行います。処方や検査オーダーは行いませんが、身体診察やカルテ記載、エコー検査や血液検査などは指導医見守りのもと積極的に行います。学生1人当たり患者さん2~3人担当し、主治医団の回診や病状説明に参加し、検査に同行し治療計画を立案します。

ネフローゼ症候群や急速進行性糸球体腎炎、ANCA血管炎、慢性腎臓病、電解質異常などの症例を担当します。

学生へのメッセージ

実習期間中は、院内の多職種の活動にもかかわりをもつことで、病院が医師と各コメディカルの協力により運営されていることを実感してください。